

2026年7月 定点

地域包括ケア病棟・地域包括医療病棟 全国届出状況 最新インサイト

2026年6月診療報酬改定直後の届出変化（毎月15日定点）

地ケア 病院数

2,657

前回 2,660 から -3

地メディ 病院数

265

前回 250 から +15

地メディ 純増率

+6.0%

21増・6減の拡大局面

エグゼクティブサマリー

地ケアは横ばいから微減、地メディは改定後の受け皿として増勢が鮮明

地域包括ケア病棟

2,657

12増・15減、純減 -3

地域包括医療病棟

265

21増・6減、純増 +15

改定直後の示唆

転換加速

急性期・地ケアから地メディへ

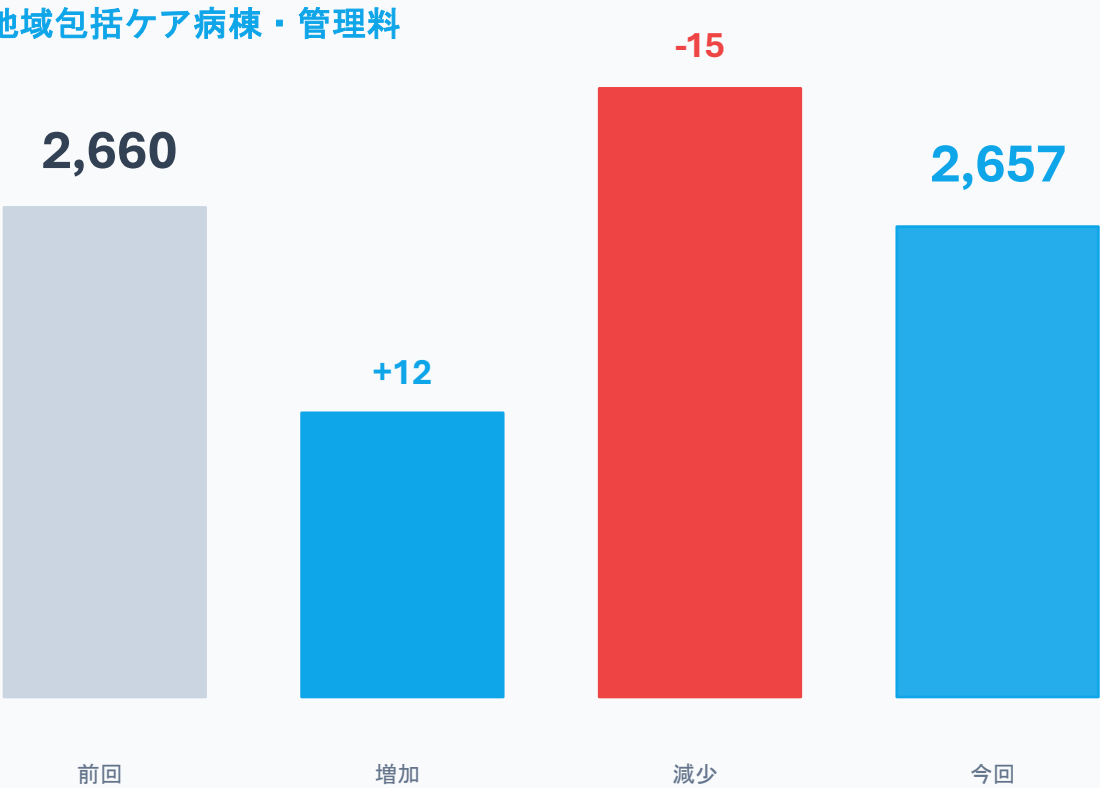
読み解きポイント

- 地ケアは全国規模ではなお圧倒的だが、増減内訳では「新規より辞退・変更が上回る」局面。
- 地メディは病院数で前回比 +15。元病棟は急性期一般、地ケア、障害者病棟など多様。
- 地ケアから地メディへ移行した事例が複数あり、ポストアキュートと急性期後方支援の境界が再編。
- 病床規模は地メディが大きめ。平均病床は地ケア約39床、地メディ約51床。

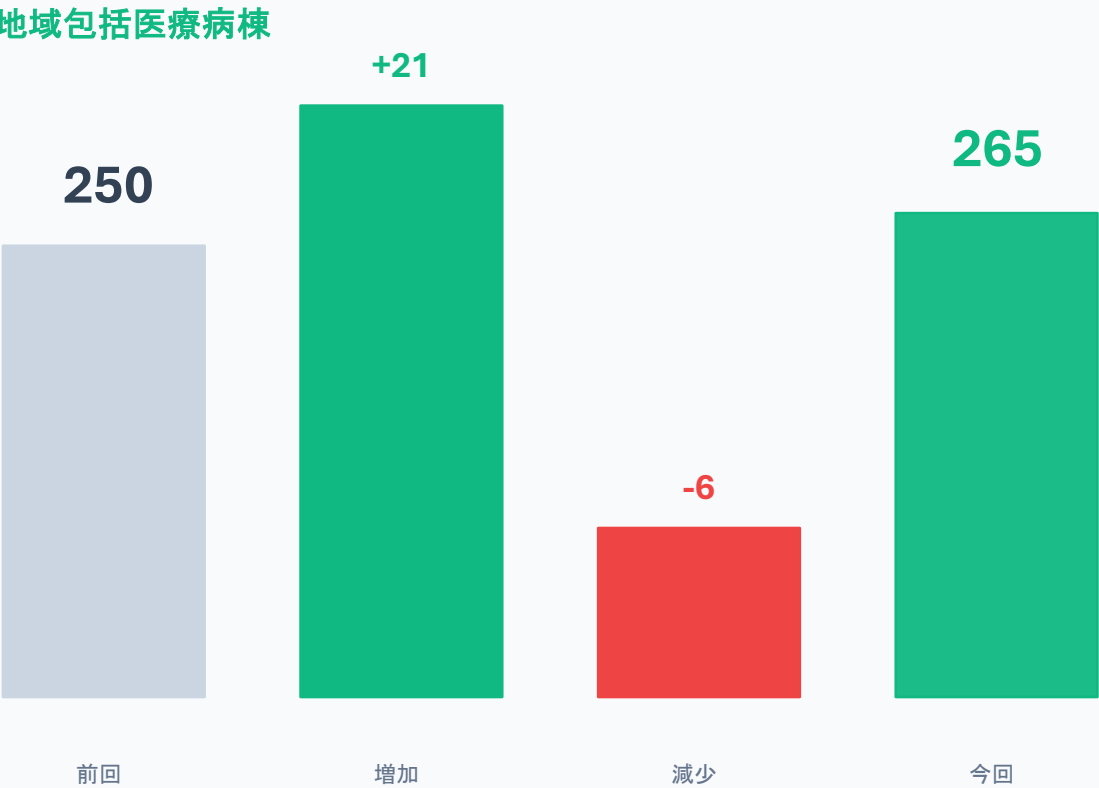
病院数の変化: 地ケアは成熟、地メディは拡大

増減の内訳を同じスケールで比較

地域包括ケア病棟・管理料



地域包括医療病棟

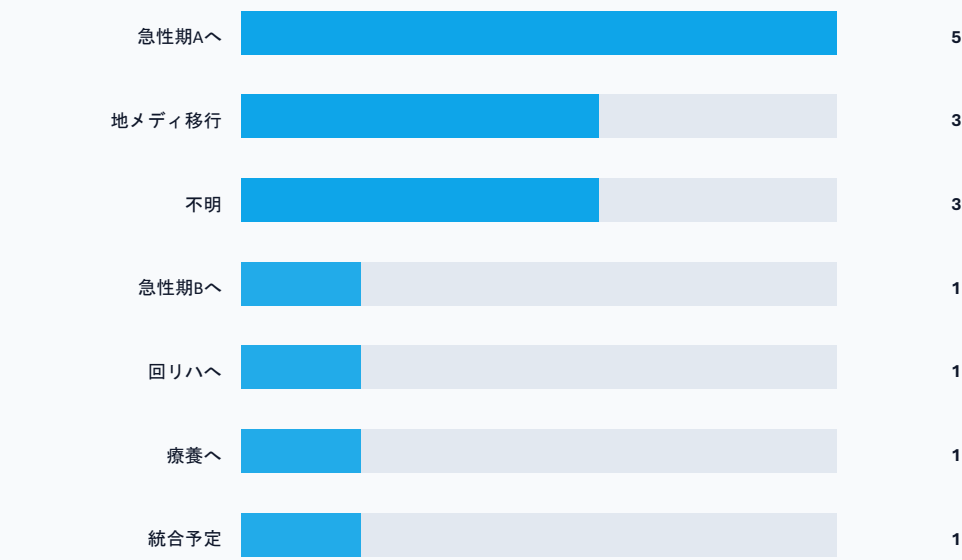


地メディは改定直後の届出増が大きく、地ケアの一部置換を含む「再編の軸」として見える。

辞退・変更先の読み解き

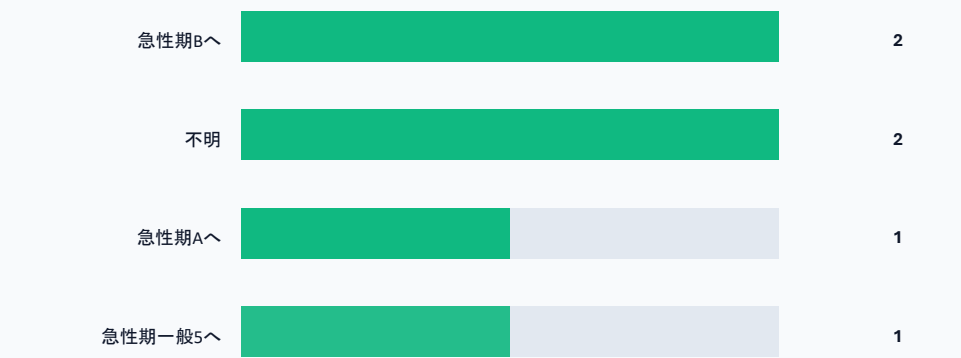
単なる減少ではなく、病床機能の再配置として見る

地ケア 減少15件の主な行き先



重点観察

地メディ 減少6件の主な行き先

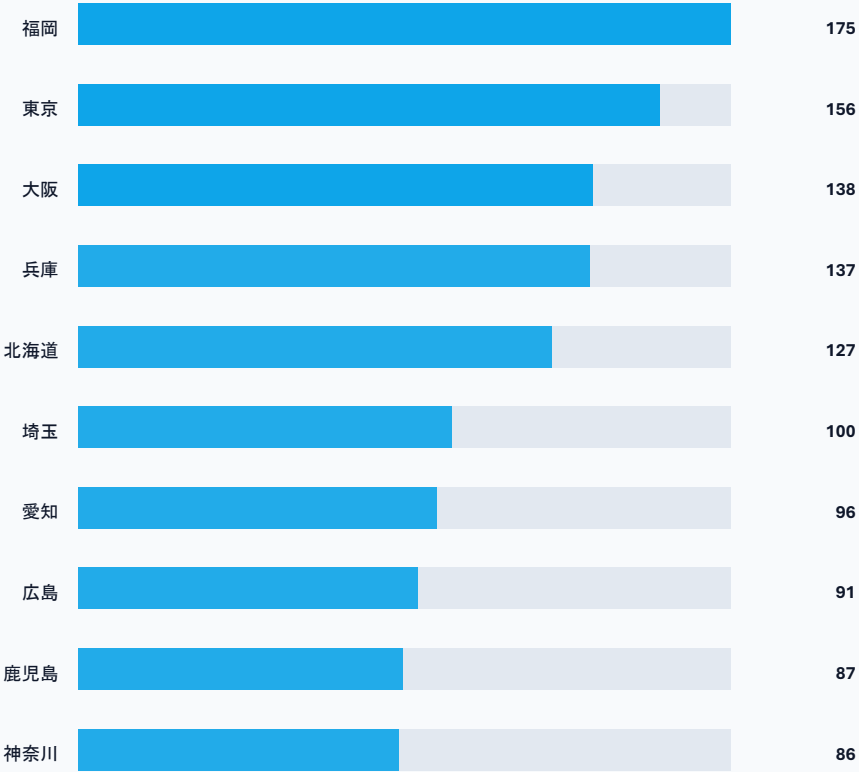


分析コメント 地ケア減少のうち、急性期A・Bへの戻りと地メディへの移行が目立つ。地メディ側も急性期一般への再移動が存在し、届出後の運用適合性が問われる段階に入った。

都道府県ランキング: 届出の厚み

大都市圏だけでなく、地方中核県にも厚み

地ケア TOP10



地メディ TOP10

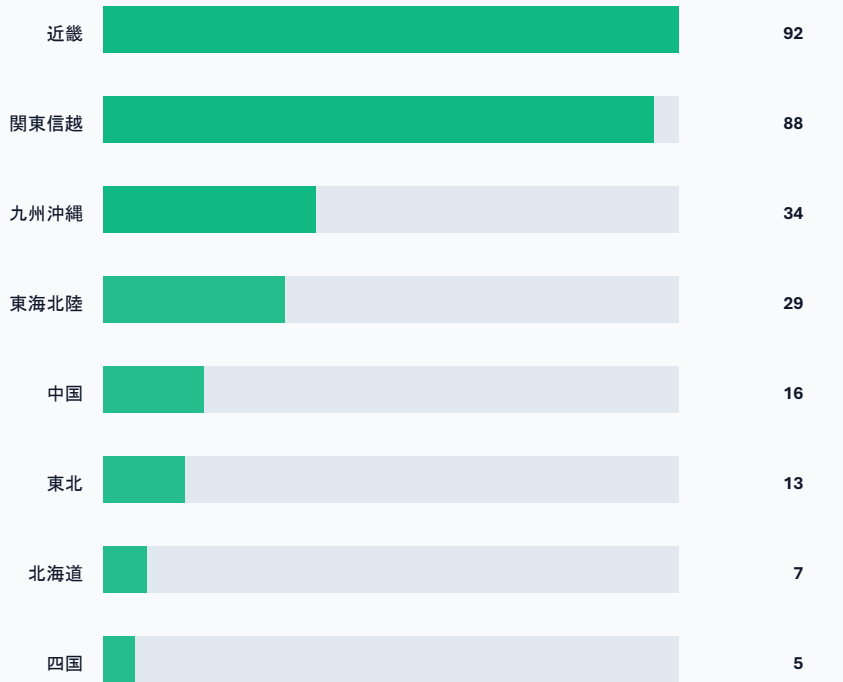
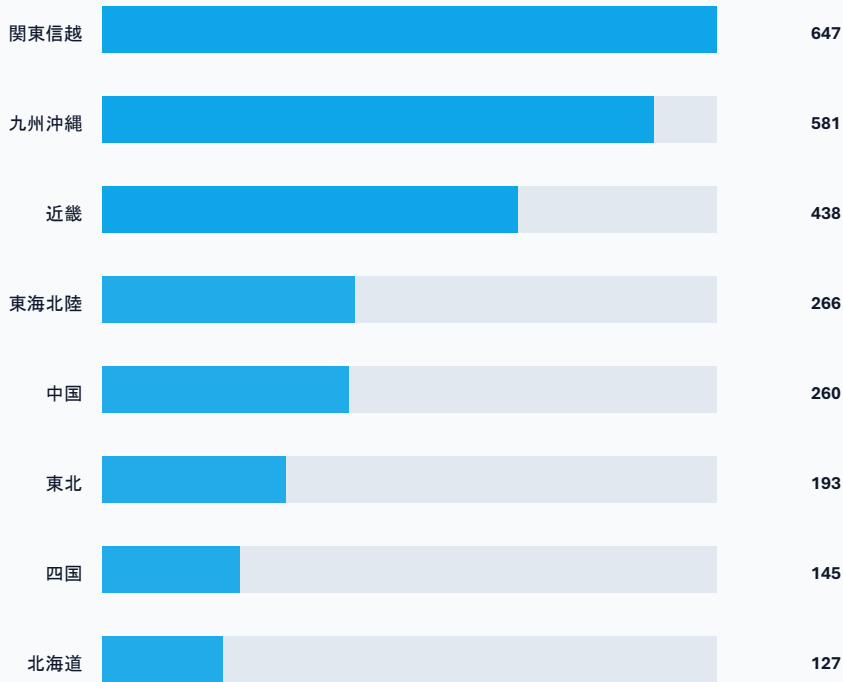


注: 地ケアランキングはアップロードPPTXの前回サマリー、地メディランキングは7月データから反映し、同順は都道府県番号順を基本とした。

地方厚生局別の分布感

地域ごとの受け皿構造の違いを俯瞰

地域別・病院数構成



地ケア

地メディ

関東信越・近畿は両病棟とも厚い

地ケアは九州沖縄の存在感が大きい

地メディは改定後に近畿、関東信越で先行